milife［みらいふ］ 発行／川西市 ☎072(740)1111 編集／広報広聴課 ☎072(740)1104
〒666-8501 兵庫県川西市中央町12番1号 https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/ 毎月1日発行
広報誌1冊の印刷代は約18円、配布する経費は約13円です。

Kculture vol.108

かわにしならではのカルチャーを発信。あんな人やこんな場所、魅力的なグルメなどを紹介します。

①放課後は毎日４時間、部員約140人で練習に励む ②５年春に行われた甲子園で準優勝を収めた ③選手時代は捕手として、春夏４大会連続で甲子園の舞台に立つ。写真は高校３年生主将時のもの

報徳学園高等学校
硬式野球部 監督

大角（おおすみ） 健二（けんじ） さん（43）

市出身。高校時代は、同校で捕手として４大会連続で甲子園に出場し、２年生の春の甲子園で全国ベスト４に入るなど活躍。進学した立命館大学では、主将としてチームをけん引する。

平成29年から母校の硬式野球部の監督として指揮し、30年夏の甲子園で全国ベスト８、令和５年春に全国準優勝。プロ野球選手を輩出するなど実績を残す。同校の国語科教諭としても、教だんに立つ。

めざすは全国制覇 球児と共に夢をかなえる

甲子園での姿を父に見せたい

interview

――川西での思い出を教えてください。

小学生のころ、父と兄の影響で野球を始めました。父の仕事が終わってから近くの公園でバッティング練習をしたり、萩原台の急な坂道でランニングをしたりしましたね。野球人生の中でも一番しんどかった。今思うと、仕事終わりで疲れているはずなのに、毎日夜遅くまで練習に付き合ってくれた父には感謝しかないです。

――なぜ母校で指導者になったのですか？

実は、大学卒業後は野球を続けずに消防士になろうと思っていました。しかし、４年生の時に、高校時代の恩師の告別式で、当時の監督から指導者として戻って来てほしいとお願いされて。迷いもありましたが、お世話になった母校と恩師に恩返しがしたいと思い決断しました。

――指導者として心掛けていることはありますか？

監督として、勝たなければいけないという使命と責任があります。なので球児には、気を遣って無理に褒めたりするのではなく、思ったことを真っすぐに伝えるようにしています。野球を通して多くの経験を積み、成長してくれたらうれしいです。

――今後の目標をお願いします。

父は僕をプロ野球選手にしたかったんですが、かなえてあげられませんでした。だからこそ、監督として甲子園という大舞台で指揮する姿を、１試合でも多く父に見せたい。僕自身も経験したことがない、甲子園での全国制覇をめざして球児と一緒に頑張ります。

CHECK & QUIZ 次の空欄（○の中）を埋めてください。
１：教育のミ○イともに考えませんか ２：地域の○涼祭・まつり

クイズ正解者の中から図書カード（1,000円分）を５人に差し上げます（正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します）。応募方法：市ホームページ（右の２次元コードからアクセス可）から必要事項を送信するか、はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のあった記事と感想を書き、７月10日㈪（消印有効）までに〒666-8501・広報広聴課「クイズ」係へ。

※６月号の正解は（守）（７）で、138件の応募がありました。

５月末現在の人口 ()内は前月比

男	72,746人	(－56)
女	81,591人	(－48)
計	154,337人	(－104)
世帯数	71,489世帯	(±0)

【広報誌が届かない人は（公社）川西市シルバー人材センターへ連絡を フリーダイヤル ☎0120(586)189（平日の午前９時―午後５時）】

UD FONT